

江東区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設所在地	東京都江東区豊洲4-10 1号棟106号室
施設名	ミアヘルサ保育園ゆらりん豊四

1 活動のテーマ

〈テーマ〉

【食育】 【生物】

〈テーマの設定理由〉

【食育】  
いろいろな食べ物を食べられるよう、食物に興味を持ってもらいたい  
【生物】  
都内では見られない生物の飼育や観察を行い、命の大切さを学んでもらいたい

2 活動スケジュール

【食育】  
バケツ稲（5歳児クラス）：6/18 苗植え。2/13 脱穀作業  
夏野菜栽培（3～5歳児クラス）：5月頃に苗植えと種植え。7～9月頃に収穫して実食。  
お料理体験（5歳児）：8/29 カレー作りを行う。包丁や皮むきの体験。調理職員と一緒に煮込み、その後実食する。  
芋堀遠足（4、5歳児クラス）：10/28 新しい村にて芋堀り体験を行う。収穫したさつまいもを使用し、おやつ作りをする。  
餅つき（全クラス）：12/12 餅つき体験をし、3～5歳児はこねて鏡餅を作る。  
【生物】  
カブトムシの飼育（3～5歳児）：幼虫から成虫まで育てる。保育士や昆虫図鑑を見て、飼育の方法を知り、昆虫ゼリー替えや霧吹きをする。  
水族館遠足（5歳児）：3/24 水族館にて、動物や海の生き物を観察し、不思議を発見する。

3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

【食育】 稲、バケツ、土（数種類）、プランター、苗（ピーマン、トマト、トウモロコシ等）、ジョウロ、子ども用包丁、まな板、ピーラー、軍手、収穫袋、もち米、臼、杵、  
【生物】 虫かご、土、昆虫用ゼリー、落葉、枯れ木、昆虫図鑑、遠足のしおり作り、動物と海の生き物の鳴き声クイズ

#### 4 探究活動の実践

〈活動の内容〉

**【食育】**  
・子ども達が育ててみたい野菜を決めて、栽培をし、水やりや観察をするだけでなく、収穫をしてどの料理で食べてみたいかを話し合っ決めて実食まで行った。  
・料理で出てくる食べ物がどのような過程で作られているのかを、実際に体験し、食材や作ってもらう人への感謝を感じる。

**【生物】**  
・生物への興味関心を持ち、名前や飼育方法などを図鑑や先生から学び、餌をあげたり、環境を整えてあげる。

〈活動中のこどもの姿、声、こども同士や保育者との関わり〉

**【食育】**  
子ども達が興味を持ったり、育ててみたい野菜を各クラスで相談し、いろんな野菜が出てくる中でピーマンやトマトなどの栽培が比較的しやすい物もあれば、メロンやスイカといった栽培が難しいものも出てきた。水やりをするときは「葉っぱが出てきたね。」「大きくなってきたね。」など成長を楽しみながら観察をする姿が見られた。収穫後も、料理を子どもと職員とで話し合い、実際に食べると「自分で作ったから美味しい」と喜ぶ姿も見られた。

**【生物】**  
生き物が大好きな子ども達なので、普段からダンゴムシやカタツムリなどを小さな虫かごで飼っていたので、カブトムシの幼虫を見て驚いたり、怖くても興味があって近づく姿が見られた。成虫になると触ろうとする子どもも出てきて、「ゼリー変えてあげるよ」と交換をする姿が見られた。



#### 5 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

**【食育】**  
夏野菜の栽培の中で、水やりを当番制にして行い、子ども達から積極的に水やりをするという姿が見られ、子ども達なりの責任感が少し見られた。苗が大きくなっていく中で、子どもならではの疑問から調べようとしていたり、先生に聞いたりして、探求している姿を見て今後も取り組んでいく。

**【生物】**  
大人が知らないような名前の生物を水族館や園外で探す姿が見られ、テレビやネットといった媒体から知識を得て、探求していく場を作って良かったと感じた。